

☆上記、規定の防具が着用されない場合は失格となります。

☆空手着には氏名を明記、腕まくり禁止。

☆選手呼び出し係はいませんので、各選手は自分の試合の5試合前には出場コート出場コーナー（ゼッケン番号の少ない方が白コーナー、多い方が赤コーナー）にて待機して下さい。（型、組手両方出場の選手のゼッケン番号は共通ゼッケン番号のため、上記の限りではありません）

選手呼び出しアナウンスコールがあっても不在の場合は失格となる事があります。

☆単なる予防のためのテーピングは禁止です。必要な選手は診断書、大会医事委員の承諾必要。

【表彰】 組手、型共に、ワンマッチは優勝のみ、3人～7人は準優勝まで、8人以上は3位まで（組手2人、型1人）

## 《大会組手試合申込カテゴリー》

本大会は、まずはカテゴリーを細分化して申込受付し、申込人数の状況により参加少ないカテゴリーは混合、参加多いカテゴリーは更に体重を最大5階級に分ける事で、日々厳しい空手の稽古に励む選手が一人でも多く優勝、入賞のチャンスを掴み、今後の極真空手稽古生、選手として、躍進、希望のきっかけとなる大会を目指します！

★各カテゴリー申込受付後、人数バランスを考慮して、体重別にカテゴリー決定します。

よって、申込時に体重カテゴリーの選択はできません。（一般男女、東日本選手権、シニアマスターズを除く）

☆受付時の体重測定は行いませんが、申込申請体重より5kg以上オーバーの可能性があると主催者、対戦相手から指摘された場合は体重測定を行い、失格になる場合があります。

特に少年部、中、高生は成長期です、申し込み時の体重を1～3kg位、多目に申請する事をお勧め致します。

☆申込時の帯、級で申込し、その後大会当日までに昇級した場合でも、申込時の帯で参加とします。

☆年齢は大会当日の年齢を申込書に記入下さい。

☆武魂杯主旨と選手の安全を考慮し多くのカテゴリーを用意致しますが2名以下の申込カテゴリーはワンマッチまたは他カテゴリーと混合します。混合カテゴリーが成立しない場合は申込無効となり、参加費は返金致します。

☆原則3名のカテゴリーは総当たり戦、4名以上のカテゴリーはトーナメント戦となります。

☆表彰は2名ワンマッチは優勝者のみ、7名以下のカテゴリーは準優勝まで、8名以上のカテゴリーはベスト4(3位)までと致します。(組手、型、同様)

### 《計量について》

武魂杯争奪戦の中学生以上、シニアマスターズ（重量級など上限体重制限の無いクラスは不要）は大会前日18時～20時（予約制）横浜関内道場にて前日計量、または大会当日開場後から試合直前までにそれぞれ出場コートにて軽量を行ってください。予約していても、前日来れない場合は当日予約に変更可能。

上記以外のカテゴリーは計量受付はしませんが、対戦相手から指摘された場合は計量を試合コートで行い、申込時申請体重を5kg以上超えている場合は失格の可能性あります。